

どんなときも子どものそばに

状況に応じた不登校支援対策

不登校やその傾向のある子どもに対し、校内教育支援ルームや教育支援センター「ルポ」、メタバースなどを活用し、一人ひとりの状況に応じた相談支援や居場所を提供しています。子どもが安心して成長し、将来的な社会的自立につながるよう支援を進めています。



ともに学び、ともに育つ

一人ひとりと向き合う支援教育

多様な子どもたちが違いを認め合いながら一緒に過ごす教室で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びを実現することで、すべての子どもたちが安心して過ごせる学校をめざし、子どもの意見が大切にされる「ともに学び、ともに育つ」教育を進めています。



「やりたい！あそびたい！まなびたい！」でいっぱい放課後に

総合型放課後事業

放課後に保育を必要とする児童に適切な遊びや生活の場を提供する「留守家庭児童会室」と、すべての児童が主体的に過ごせる場として学校の一部を開放する「放課後オープンスクエア」を一体的に運営。また、地域の特色を生かした体験活動を提供する「枚方子どもいきいき広場」を実施しています。



市独自の経済的支援

小学校給食費を無償化

市独自の子育て世帯の負担軽減策として、市立小学校に在籍する児童の給食費を無償としています。また、枚方市の給食は郷土料理や行事食などを献立に取り入れ、食文化を継承する「食育」にも力を入れています。地元産の農産物や旬の食材を使った新鮮かつ安全で、おいしい給食を提供しています。



プロの指導サポートで泳力向上

水泳授業民間活用

インストラクターの指導サポートによる小学校水泳授業が広がっています。泳力向上だけでなく、計画的な授業実施や年間を通じた水泳授業が可能になるなど授業カリキュラム設定の上でもメリットあり。プールの老朽化が著しい学校などから順次移行し、全校実施に向けて取り組んでいます。



いつでもどこでも本と触れ合える

暮らしと学びをつなぐ図書館

公共図書館では、ICタグの一括読み取りで、簡単・便利に本を借りられる自動貸し出し機や24時間利用可能な予約図書受け取りロッカーの導入、オンライン上で本を借りられる電子図書館の運用などでいつでも気軽に図書と触れ合える環境を整えています。また、学校図書館機能の充実にも取り組んでいます。

